

2011 年 3 月 4 日

島根大学長 殿

機関名・職名

研究者名 (代表者名)

寧夏大学政法学院 社会学教授

蘇 東海

Ⓔ

## 2010年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野 (該当分野を○で囲んでください。)	1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 2. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 ③ 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究
研究課題	寧夏南部山区の農業経済と社会発展の比較に関する調査研究
研究者の連絡先	
実施期間	2010年 4月 ~ 2011年 1月

## 研究の実績・成果の概要

## 一、寧夏南部山区の自然地理生態環境と社会発展の基本特徴

- 1、長期にわたって旱魃と水不足が続き、生態環境が脆弱である。
- 2、農業は雨水に頼り、農民の収入が低く、貧困人口の割合が高い。
- 3、工業基盤は弱く、経済構造が単一で、財政能力が弱い。
- 4、投資環境は悪く、対外開放レベルも、市場の成長も低い。
- 5、人口増加スピードが速すぎ、人々の教育レベルが低い。

## 二、寧夏南部山区の持続可能な発展における問題

- 1、出生率が高く、人口増加のスピードが速すぎる。
- 2、出生人口の性別の偏りが大きく、人口性別構造バランスが悪い。
- 3、障害者人口と非識字者・半非識字者の割合が大きく、教育レベルが全体的に低い。
- 4、農民の出産観が遅れており、男子を望む傾向にある。

## 三、寧夏南部山区の人口発展が直面している状況

- 1、人口総量の持続的な大幅増長と生態環境扶養力に対する圧力の増大。
- 2、労働年齢人口の持続的増加と就業圧力の増大。
- 3、老年人口の大幅増加と社会養老保障に対する圧力の増大。
- 4、都市化進展の加速と流動人口の就業圧力の増大。

## 四、寧夏南部山区の経済振興と持続可能な発展に関する対策

- 1、農業経済構造を調整し、草業・牧畜業の発展に力を入れる。
- 2、引水設備建設を加速させ、長期的水不足状況を変える。
- 3、外資導入に力を入れ、より多くの企業の投資を吸収する。
- 4、人口増加を厳しくコントロールし、低出産状態を長期に安定させる。
- 5、総合治理によって、教育レベルを全体的に高める。
- 6、地域の調和的発展を統一計画し、人口・経済・社会の持続可能な発展を促進する。

区 分	金額 (単位: 円)	備 考
1. 物品費	0.0	
2. 消耗品費	23,813.3	文具、ハードディスク
3. 謝金等	61,259.8	学生労務謝金
4. 旅費・滞在費	80,237.0	調査、セミナー参加
5. その他	34,690.0	図書購入、資料印刷
計	200,000.0	